令和７年度事業計画

【事業計画】

政府が令和７年２月に閣議決定した第７次エネルギー基本計画においては、エネルギー安全保障に寄与し脱炭素効果の高い再生可能エネルギーや原子力などの電源を最大限活用する方針が示され、この実現に向け日本原子力研究開発機構や量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所において進められている最先端の研究開発に大きな期待が寄せられている。また日本原子力発電株式会社東海第二発電所においては安全対策工事が着実に実施され、周辺市町村では広域避難計画の策定が進むとともに住民への説明が行われている。こうした動きに加え、令和６年９月にはＪＣＯ臨界事故から２５年の節目を迎えるなど、近年、原子力や放射線に対する県民の関心は一層の高まりを見せている。

こうした中、「広く県民に、放射線の基礎知識と原子力の安全等に関する幅広い知識の普及と啓発の事業を行い、もって放射線及び原子力に関する科学技術の振興に寄与する」ことを目的とする公益社団法人茨城原子力協議会の役割は、ますます重要性を高めている。

このため、令和７年度においては、新たに策定した第３期中期計画に基づき、財務状況の改善を図りながら、以下のとおり科学館事業及び普及啓発事業等を計画的かつ効果的に実施し県民の理解促進に繋げていく。

Ⅰ　科学館事業

１　原子力科学館の常設展示及び企画展示

（１）　常設展示

	展示名	開催時期	内　　容
①	常設展示	通年	・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示 ・ガイダンスシアター「アトミックトラベル -原子の力-」 ・ラジエーションボックス -放射線の正体-（世界最大級の霧箱等） ・ネイチャータウン -自然界の放射線- ・テックストリート -人と放射線・原子力の利用- ・ボイスフィールド -未来の私たち-（令和7年３月８日～）
②	原子力研究機関情報コーナー	通年	日本原子力研究開発機構の研究開発状況をモニター映像及びパネルで展示（令和７年３月８日～）
③	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電㈱からの受託事業】 東海第二発電所における安全対策をパネル等で展示

④	JCO 臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 JCO 臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑤	梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞及び J-PARC とスーパーカミオカンデを繋ぐ T2K 実験の解説パネルを展示

（２） 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内　容
①	企画展「家の中のおじゃま虫」	5/17～6/8	屋内に潜む害虫の種類や特徴、人への影響について紹介
	講演会「めずらしい海の生き物のおはなし」(仮)	6/8	～助け合って生きているめずらしい海の生物～ 講師：アクアワールド茨城県大洗水族館
②	講演会「流れ星と秋から冬の星座のおはなし＆星空観望会」	12/14	～ふたご座流星群と土星を見てみよう～ 講師：土浦第三高等学校　岡村典夫　先生
③	企画展「土からわかる防災のはなし」	2/21～3/8	地球を形づくる土のことを科学的にミクロの目からも知り、土に親しみ、災害に備える知識を紹介
	講演会「いのちを守る身近な防災」(仮)	3 月	大雨や地震に対する防災について

（注）　企画展①及び③は全国科学館連携協議会との共催

（３） 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内　容
①	第37回アートロード展	3/25～4/13	東海村に居住又は勤務する文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品（絵画・写真・書）を展示
②	広木孝一写真展	1/6～1/18	個人写真展開催

（注）　企画展示以外の期間について利用者を随時募集

２　原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内　容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3、4	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか
(2)	夏休みイベント	7/19～8/31	アインシュタイン博士の謎解き挑戦状ほか
(3)	クリスマスイベント	12/6、7	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか
(4)	親子星空観望会＆ナイトミュージアム	1～2 月	惑星や星座の観望
(5)	春休みイベント	3 月	実験・工作教室、ふわふわ(エアドーム)ほか

３　近隣科学館等との連携

（１）　実験・工作教室等

（２）　スタンプラリー及びスタンプチャレンジ

（３）　第３７回原子力広報機関連絡会の開催

（４）　職場体験の受入れ

４　原子力科学館の運営管理

（１）　情報発信

① イベント情報等の発信

② ＳＮＳの活用

（２）　誘客広報

① 県内各小中学校に対し、原子力科学館を校外学習の場として利用するよう働きかけ

② 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置

③ 近県の旅行代理店、茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付

④ 原子力科学館の年間イベントスケジュールをホームページ上にて早期発信

⑤「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」のサイクルサポートステーションへの登録

（３）　安全対策及び施設改修等

① 地震時避難誘導訓練（随時）

② 火災時の通報訓練、消火器取扱訓練（２回/年）

③ 普通救命講習会（１回/年）

④ 段差解消機、受電設備等の定期点検（随時）

（４）　感染症対策

① 施設出入口及び館内にアルコール消毒液を設置

② 案内カウンターの机上に飛沫防止用の透明アクリル板を設置

③ 入口付近に非接触式検知器を設置し、希望する来館者の体温を測定

なお、職員のマスク着用については、来館者対応時は継続

（５）　臨時休館等

施設設備の保守点検や改修・更新を安全かつ計画的・集約的に実施するため、繁忙期以外の時期において、必要に応じて臨時休館等の期間を設ける。

Ⅱ 普及啓発事業

1　講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内　容
(1)	教員向けセミナー	8 月	【茨城県からの受託事業】 原子力教員セミナー 対象：県内の教職員、教育委員会職員等 ① 動画配信　講義「放射線の基礎知識」 ② 実習「身の回りの放射線測定体験」、「目で見る放射線観測体験」及び原子力関連施設見学
(2)	学校への専門家派遣事業	7～2 月	【茨城県からの受託事業】 茨城県内の小・中学校、高等学校に原子力専門家を派遣(又は原子力科学館に来館)し、授業の一環として、放射線に関する実験や講義を実施
(3)	原子力と放射線の基礎知識普及・啓発講座事業	7～3 月	【茨城県からの受託事業】 茨城県民を対象に、原子力専門家による原子力と放射線に関する基礎知識の普及啓発講座を実施
(4)	出前原子力展示	9 月 10 月 11 月 11/23	市町村等のイベントにおいて、パネル展示や放射線測定器による測定体験など、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 ① 2025 市民生活安全フェスティバル(日立市) ② いい那珂フェスティバル ③ 大洗商工感謝祭＆大洗あんこう祭 ④ 東海 I～MO のまつり
(5)	サイエンス工房	4 月～3 月	児童・生徒等を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施
(6)	常陸太田市原子力科学工作教室	8 月	【常陸太田市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(7)	ひたちなか市原子力科学工作教室	8 月	【ひたちなか市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(8)	那珂市原子力科学工作教室	8 月	【那珂市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(9)	鉾田市原子力工作教室	12 月	【鉾田市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験(霧箱作製)
(10)	東海村原子力防災入門講座、原子力視察研修	10～11 月	【東海村からの受託事業】 入庁 2 年目及び中堅職員への視察研修等
(11)	視察研修・研修会	11 月	視察研修 東京電力㈱福島第一原子力発電所等

(12)	新春のつどいの開催	1/9	会場　　：水戸プラザホテル 参加人数　：約 350 名(予定) 出席者　　：知事、国会議員、県議会議員、市町村長、正会員、賛助会員等 出展ブース：県南地域市町村及び会員企業、(公社)茨城原子力協議会

2　調査･分析、資料収集･提供事業

（1）　広報紙「かがやき」の発行

発行回数	2 回/年
発行部数	5,000 部(2,500 部×2 回)
主な内容	第 94 号(7 月発行予定) ・令和 7 年度定時総会、ゴールデンウィークイベント報告、市町村夏のイベント情報、展示館イベント情報他 第 95 号(3 月発行予定) ・令和 8 年新春のつどい、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

※茨城原子力協議会ホームページにも掲載し、情報発信を行う。

（2）　放射線監視・防災対策専門員事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
配置先及び 配置人数	茨城県：2 名、東海村：1 名 日立市、常陸太田市、那珂市、茨城町、大洗町：3 名で対応
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

（3）　東海村原子力安全対策支援事業【東海村からの受託事業】

実施時期	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
配置先及び 配置人数	東海村：　1 名
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

（4）　監視データ整理事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 7 年 5 月下旬～令和 8 年 3 月 31 日
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷　80 部×4 回 監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷　100 部×1 回 環境放射線監視季報取りまとめ、印刷　166 部×1 回

（５） 原子力広報業務事業【茨城県からの受託事業】

ラジオ広報	
実施時期	令和８年２月～3 月
実施回数	40 回(2 回／日)
実施内容	茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A 形式で実施
動画広報	
実施内容	ラジオ広報の Q&A 形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

Ⅲ 総会・理事会等（予定）に関する事項

	日程	審議事項
第１回理事会	５月下旬	令和６年度事業報告及び収支決算、定時総会の開催
定時総会	６月下旬	令和６年度事業報告及び収支決算、理事の選任、監事の選任
第２回理事会	定時総会終了後	会長、副会長、常務理事の選定
第３回理事会	11 月下旬	令和７年度収支予算の補正(案)等
第４回理事会	２月下旬	令和７年度事業報告、収支予算の補正及び収支決算見込み、令和８年度事業計画及び収支予算等

Ⅳ 組織体制等に関する事項

協議会の継続的、安定的な活動を確保し、設立目的を着実に実現できるよう、第３期中期計画に基づき、以下の取組に重点を置き組織を運営する。

１ 財務運営

全職員のコスト意識を徹底するとともに、更なる自主事業の見直しや事業実施方法の効率化、科学館運営の合理化等に努め、支出の削減に努める。一方、公共団体等からの受託事業の拡大や新規会員獲得等、収入の増加にも努める。なお、中期的に安定した財務運営を行えるよう、収支ベース決算額の黒字化を目指す。

２ 施設管理

老朽化する施設設備については、当面は事業特定資産の活用や国交付金の獲得等により適切な管理に努める。なお、昭和５２年の開館以来、約５０年が経過する科学館の今後の在り方について、速やかに検討を開始する。

3　組織人事

限られた職員で最大の組織パフォーマンスが発揮できるよう、各職員の知識や経験を十分に生かせる職場環境を確保する。

また、職員の処遇等については、社会経済情勢を踏まえ適切に対応する。